

2020年度 第1四半期決算

2020年7月30日

富士電機株式会社

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減により減収減益

(単位:億円)

	2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	増減
売上高	1,760	1,688	-72
営業損益	36	24	-12
経常損益	39	26	-12
特別損益	-2	-0	2
税金等調整前 四半期純損益	36	26	-10
法人税等	9	7	-3
非支配株主に帰属する 四半期純損益	2	6	4
親会社株主に帰属する 四半期純損益	25	14	-12

(平均為替レート)

(単位:円)

US\$	109.90	107.62	-2.28
EURO	123.49	118.48	-5.01
RMB	16.07	15.17	-0.90

(期末レート差:3月末→6月末)

(単位:円)

US\$	110.99→107.79	108.83→107.74	2.11
EURO	124.56→122.49	119.55→121.08	3.60
RMB	16.47→15.69	15.31→15.23	0.70

売上高増減

海外子会社の為替換算差による減収	-9
需要減	-63

営業損益増減

物量・生産減	-30
固定費減	+27
為替影響	-5
その他*	-3
	-12

*コストダウン、価格変動、機種構成差等

営業外損益増減

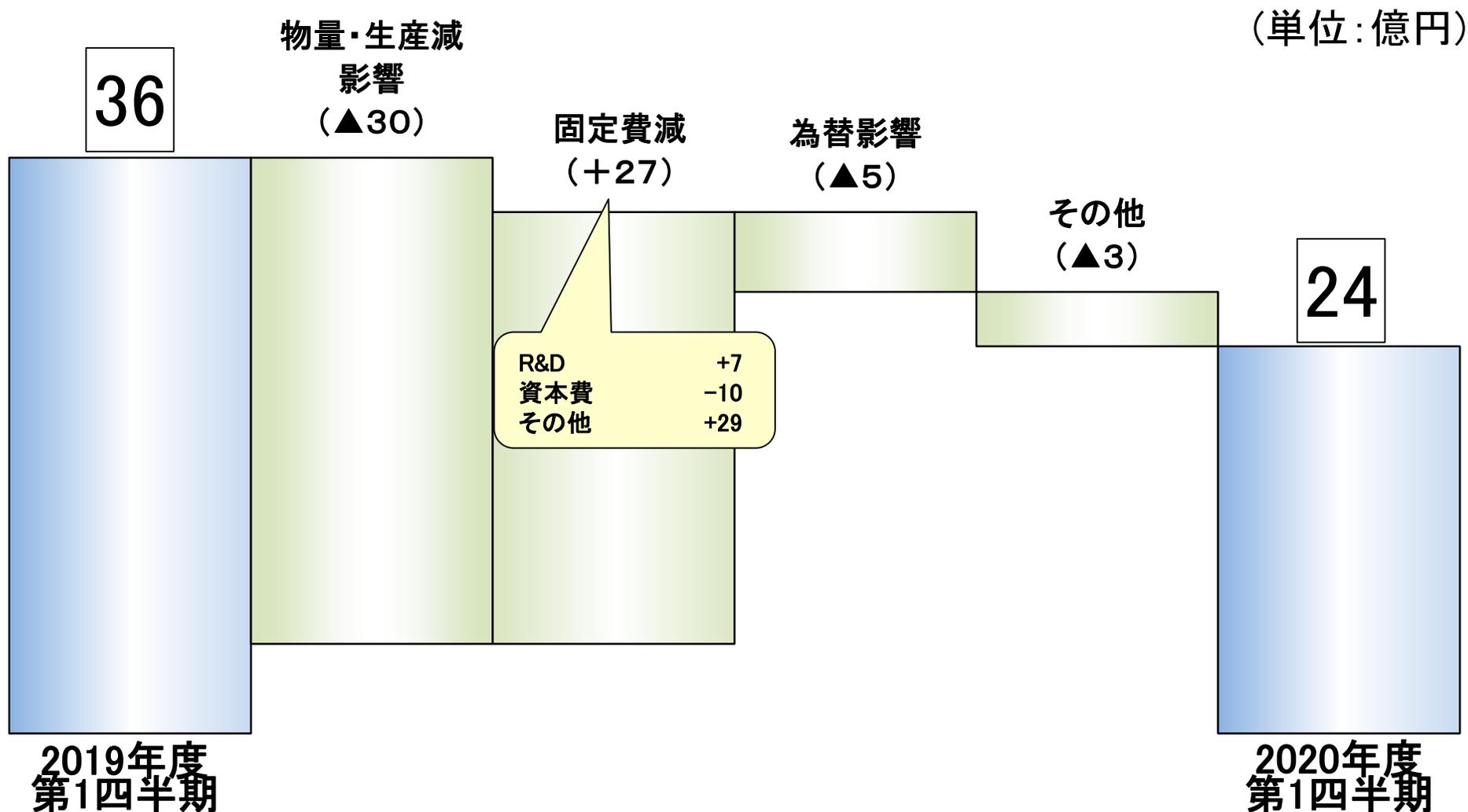
金融収支	0	(11 → 12)
為替差損益	2	(-7 → -4)
その他	-3	(-3 → -5)
	-0	(2 → 2)

特別損益増減

投資有価証券売却益	-2	(2 → 0)
投資有価証券評価損	4	(-4 → 0)
その他	-0	(-0 → -1)
	2	(-2 → -0)

2020年度第1四半期 営業損益増減分析(対前年)

物量・生産減及び先行投資費用増等により、その他固定費減あるも減益



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減で 食品流通を主因に減収減益

(単位:億円)

	2019年度 1Q実績		2020年度 1Q実績		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレシステム エネルギー	424	12	384	12	-40	0
パワエレシステム インダストリー	535	-27	579	-14	45	14
電子デバイス	329	33	350	27	21	-5
食品流通	287	22	190	-2	-97	-24
発電プラント	146	6	157	9	10	3
その他	150	5	122	3	-28	-2
消去または全社	-112	-14	-93	-12	19	3
合計	1,760	36	1,688	24	-72	-12

※2019年度実績は、2020年度の事業組替を反映し、表示しています。

2020年度第1四半期 セグメント別業績概況(対前年) ①

(単位:億円)

			2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	増減	概況
パワエレシステム	エネルギー	売上高	424	384	-40	エネルギーマネジメント 18%減収 産業向け電源機器の前年同期大口案件影響及びスマートメータの需要減少により減収減益。 施設・電源システム 5%減収 施設電機及び盤事業の前年同期大口案件の影響により減収も、原価低減等の推進により増益。
		営業損益	12	12	0	器具 6%減収 工作機械をはじめとする国内の機械セットメーカーならびに受配電盤メーカーの需要が低調に推移し減収も、原価低減及び固定費削減等の推進により増益。
	インダストリー	売上高	535	579	45	オートメーション 6%増収 国内を中心に低圧インバータの需要が減少したものの、FAシステムの需要増加や中国におけるFAコンポーネントを中心とした需要増により増収、営業損益は前年同期と同水準。 社会ソリューション 35%増収 鉄道車両用電機品の大口案件増加等により増収増益。
		営業損益	-27	-14	14	設備工事 15%減収 設備投資計画の延期や工事の工期延長等により電気設備工事が低調に推移し減収も、原価低減の推進等により増益。 ITソリューション 19%増収 公共分野・文教分野の大口案件の増加により増収増益。

2020年度第1四半期 セグメント別業績概況(対前年) ②

(単位:億円)

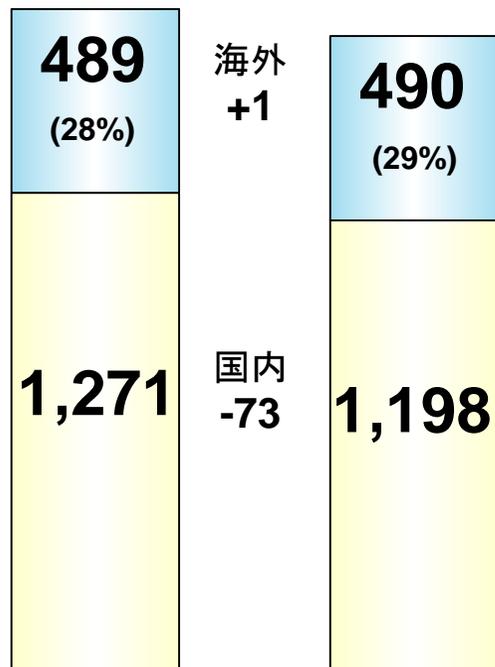
		2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	増減	概況																					
電子デバイス	売上高	329	350	21	半導体 5%増収 中国を中心とした新エネ市場向けならびに電気自動車(xEV)向けパワー半導体の需要増加により増収も、生産能力増強等に係る先行投資による費用増及び為替影響等により減益。 ディスク媒体 12%増収 データセンター向け需要増、原価低減等により増収増益。 電子デバイス 売上高内訳																					
	営業損益	33	27	-5																						
					半導体 分野別売上高構成比																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度1Q</th> <th>2020年度1Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>半導体</td> <td>275</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>ディスク媒体</td> <td>54</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>			2019年度1Q	2020年度1Q	半導体	275	290	ディスク媒体	54	60	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度1Q</th> <th>2020年度1Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業モジュール</td> <td>47%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>産業ディスクリット</td> <td>20%</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>自動車</td> <td>33%</td> <td>34%</td> </tr> </tbody> </table>			2019年度1Q	2020年度1Q	産業モジュール	47%	50%	産業ディスクリット	20%	16%	自動車	33%	34%
	2019年度1Q	2020年度1Q																								
半導体	275	290																								
ディスク媒体	54	60																								
	2019年度1Q	2020年度1Q																								
産業モジュール	47%	50%																								
産業ディスクリット	20%	16%																								
自動車	33%	34%																								
食品流通	売上高	287	190	-97	自販機 25%減収 国内飲料メーカーの営業活動自粛及び設備投資の減少、ならびに中国の需要減少により減収減益。 店舗流通 41%減収 コンビニエンスストア向け店舗設備機器等の需要減少、及び改装工事の一部中止・延伸により減収減益。																					
	営業損益	22	-2	-24																						
発電プラント	売上高	146	157	10	火力発電設備及び太陽光発電システムの大口案件の増加により増収増益。																					
	営業損益	6	9	3																						

国内売上高は食品流通を主因に減収 海外売上高は中国向けが増収

(単位:億円)

()内は海外売上高比率

1,760 -72 1,688



2019年度
1Q実績

2020年度
1Q実績

(単位:億円)

	2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	増減
海外	489	490	1
アジア他	246	232	-14
中国	165	192	27
欧州	47	39	-8
米州	31	27	-3

半導体 +17
オートメーション +17
自販機 -8

国内	1,271	1,198	-73
----	-------	-------	-----

食品流通 -90

有事への対応により現預金増

(単位:億円)

資産の部	20/3/31	20/6/30	増減
現金及び預金	641	1,524	883
売上債権	2,945	2,388	-557
棚卸資産	1,881	2,064	183
その他	490	491	1
流動資産 計	5,957	6,467	510
有形固定資産	2,019	2,006	-13
無形固定資産	246	232	-14
投資その他の資産	1,745	1,901	156
固定資産 計	4,010	4,140	129
繰延資産	1	1	-0
資産 合計	9,968	10,608	640
ネット有利子負債※1	1,536	1,744	207
ネットD/Eレシオ※2	0.4倍	0.5倍	0.0倍
自己資本比率	36.7%	35.6%	-1.1%

負債、純資産の部	20/3/31	20/6/30	増減
買入債務	1,799	1,441	-358
有利子負債	2,174	3,257	1,084
その他負債	1,935	1,731	-204
負債 合計	5,908	6,430	522
資本金	476	476	—
資本剰余金	459	460	1
利益剰余金	2,413	2,369	-44
自己株式	-73	-73	-0
株主資本	3,275	3,232	-43
その他の包括利益累計額	381	544	163
非支配株主持分	404	403	-1
純資産 合計	4,060	4,178	118
負債・純資産 合計	9,968	10,608	640

※1 ネット有利子負債：有利子負債-現金及び現金同等物

※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

(単位:億円)

2,463



**2019年度
1Q実績**

1,982



**2020年度
1Q実績**

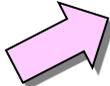
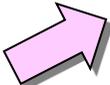
2020年度 第1四半期の受注状況(対前年)

	1Q 対前年	概況									
パワエレシステム エネルギー	-18%	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・電源システムの前年大口案件影響を主因に減少。 									
エネルギー マネジメント		<ul style="list-style-type: none"> ・産業向け変電機器の前年大口案件影響により減少。 ・スマートメータの需要減少。 									
施設・電源 システム		<ul style="list-style-type: none"> ・施設電機及び盤事業の前年同期大口案件影響により減少。 									
器具		<ul style="list-style-type: none"> ・国内は、機械セットメーカー向け受配電盤メーカー向けともに減少。 ・海外は、中国を中心に増加。 	<p>■器具1Q受注高</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対前年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>-4%</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>-8%</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>+8%</td> </tr> </tbody> </table>		対前年	全体	-4%	国内	-8%	海外	+8%
	対前年										
全体	-4%										
国内	-8%										
海外	+8%										

2020年度 第1四半期の受注状況(対前年)

	1Q 対前年	概況													
パワエレシステム インダストリー	-26%	<ul style="list-style-type: none"> ITソリューションの案件延伸、社会ソリューションの前年大口案件影響等を主因として減少。 													
オートメーション		<ul style="list-style-type: none"> 国内は、低圧インバータ及びFAシステム大口案件影響により減少。 海外はFCN社の連結影響及び中国のFAコンポーネント、低圧インバータの伸長により増加。 	<p>■低圧インバータ1Q受注高</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対4Q</th> <th>対前年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>-24%</td> <td>-21%</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>-39%</td> <td>-36%</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>-5%</td> <td>-3%</td> </tr> </tbody> </table>		対4Q	対前年	全体	-24%	-21%	国内	-39%	-36%	海外	-5%	-3%
	対4Q	対前年													
全体	-24%	-21%													
国内	-39%	-36%													
海外	-5%	-3%													
社会ソリューション		<ul style="list-style-type: none"> 放射線機器・システムの前年大口案件影響により減少。 鉄道車両は国内向けを中心に増加。 													
設備工事		<ul style="list-style-type: none"> 設備投資計画の延期及び前年大口案件影響等により減少。 													
ITソリューション		<ul style="list-style-type: none"> 前年大口案件影響及び案件延伸等により減少。 													

2020年度 第1四半期の受注状況(対前年)

		1Q 対前年	概況
電子デバイス		+9%	・電気自動車(xEV)向け及び新エネ市場向けが増加。
半導体	産業		・中国を中心とした新エネ市場向けやFA向けが増加。
	自動車		・ガソリン車向け需要減もxEV向けが増加。
ディスク媒体			・ニアライン向け需要拡大により増加。

	対4Q	対前年
全体	3%	8%
自動車	-9%	10%
産業 ディスクリート	-10%	-13%
産業 モジュール	19%	16%

2020年度 第1四半期の受注状況(対前年)

	1Q 対前年	概況													
食品流通	-36%	・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減により減少。													
自販機		<ul style="list-style-type: none"> ・国内は飲料メーカーの設備投資抑制により減少。 ・海外は中国は減少、東南アジアは増加。 	■自販機1Q受注高 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対前年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>-33%</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>-33%</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>-39%</td> </tr> <tr> <td>中国</td> <td>-47%</td> </tr> <tr> <td>東南アジア他</td> <td>+34%</td> </tr> </tbody> </table>		対前年	全体	-33%	国内	-33%	海外	-39%	中国	-47%	東南アジア他	+34%
	対前年														
全体	-33%														
国内	-33%														
海外	-39%														
中国	-47%														
東南アジア他	+34%														
店舗流通		・店舗工事計画の延伸等により減少。													

	1Q 対前年	概況
発電プラント		・再生可能エネルギーの案件延伸を主因に減少。

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。